

ご質問内容

- 1 「東大阪市旭町庁舎」の価値をどのように評価され、今後の保存と利活用策についてどのようにお考えでしょうか。
いつからかわかりませんが、古くなっているので建て替えなければならぬ。ガラスの構造が強く耐震も出来ぬ。と聞かされてきました。専門家の皆さんからお話を聞いたり、現状を視察するなかで、旭町庁舎の素晴らしさも認識したところで、ですから一般の市民は、理解出来る事もわかります。もっと知ってもらえたら残そうとする考えの方も増えろと思えます。東地域のシンボルでありもう一度見直すべきだと思えます。
- 2 世界の諸都市では、歴史的文化的に価値ある建築を積極的に活用しているとする「リビング・ヘリテージ」(生きている遺産)という考え方が志向され、各地で実践されています。我が国においても、歴史的文化的に価値ある建築やまち並みを地域活性化の拠点や資源と位置付けて、その利活用方法などを地域の市民と専門家と共に考え検討を進める動きが多く見られ成果をあげています。東大阪市の街づくりにおいて、このような手法に倣って積極的に取り組む政策はどのようにお考えでしょうか。
全国的に価値ある建築物を残そうと取り組んでいる事は、報道でも知りました。東大阪においても解体するのではなく価値ある建築物を探し、後世に残す努力が必要だと思えます。
- 3 より適切な耐震改修の計画実施により、「東大阪市旭町庁舎」固有の文化財的価値を損なうことなく、現行の建替え事業計画よりもはるかに少ない費用で、必要な耐震性能の確保と長寿命化は達成可能です。この利活用設計に優れた建築構造学識経験者らに依る耐震改修提案をする用意があります。このような提案の対応についてどのようにお考えでしょうか。
かつては、耐震費用は多大な費用がかかるという事で、技術も進み安価で実施できるとお聞きしています。是非提案していただき後世に残すべきだと思えます。
- 4 「東大阪市旭町庁舎」に関わる建替え事業政策の進行に対して、現在の総合的価値や利便性を損なうことなく、今後の地域文化経済諸活動に資するような保存と利活用の諸提案を学識経験者ら含めて取り組む用意があります。このような提案の対応についてどのようにお考えでしょうか。
現在進められている「公共施設の再編整備計画」を見直して、地域住民や専門家の意見等を聞き取り組むべきと私も思っています。今の市のやり方は、あまりにも独断的であり、パブリックコメントに寄せられた市民の声が反映されてないことか内題です。
- 5 「東大阪市旭町庁舎」建物と敷地に関わる今後のありように関してその他お考えございましたらご自由にお示しください。
まだまだ、地域住民・市民は、旭町庁舎の文化財的価値打ちを理解出来ていません。また、解体される事も知らないという状況です。なくなってしまったから気付いてもは方ありません。多くの人に訴え理解してもらえよう。私も取り組んで行きたいと考えています。

ご回答者 ご芳名： しま倉久美子